

2020.11.09

地域とともにある学校づくり研修会資料

# 実効性のある、持続可能なコミュニティ・スクールを目指して

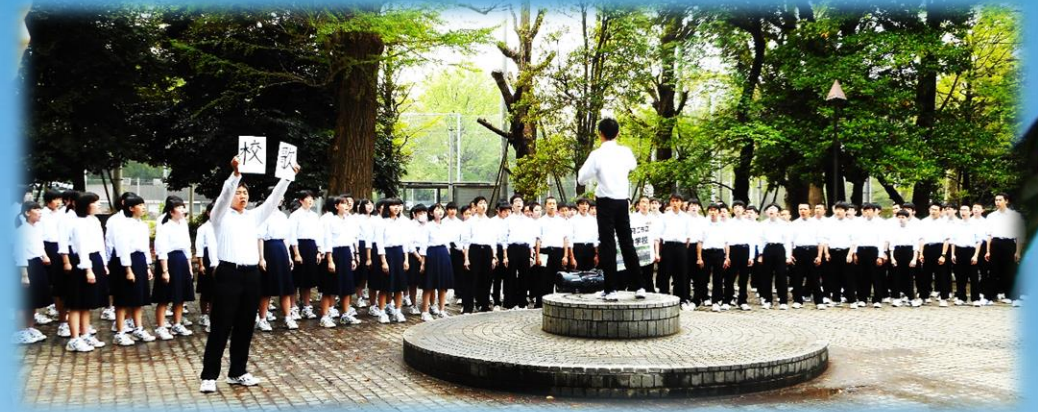


町会長と語る会

寒河江市立陵東中学校 校長 鈴木和彦

# 寒河江市立陵東中学校

- 昭和43年創立 今年度53年目を迎える歴史と伝統のある学校
- 建学の精神：「親和」「剛健」「気品」「実力あるたくましい日本人の育成」
- 現在の生徒数：398名 ●学級数：16学級
- おもな特徴：「あいさつ・合唱・ボランティア」を三本柱とした生徒会活動が活発な学校中でも「合唱活動」は創立当時から盛んで、今日まで受け継がれている自慢の文化である。修学旅行先での合唱発表を始めたのも本校が最初であり、現在も続けている。



上野公園での合唱発表



# 子どもたちを取り巻く社会の状況

## <社会の変化から>

- ・ AI（人工知能）ロボットの発達・グローバル化・情報化の進展
- ・ 現在の職業の半分がなくなる・世界的な人口増加・環境問題・異常気象 等

## <地域の課題から>

- ・ 少子高齢化の進行・地方の人口減少・地域行事の衰退・核家族化の進行
- ・ 児童・生徒数減少による学校の統廃合・家庭や地域教育力の低下
  - 地域とのつながり・住民意識の希薄化

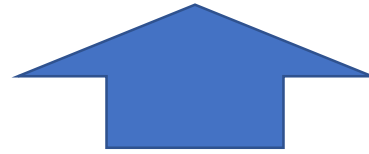
## <学校の課題から>

- ・ いじめ問題・不登校問題・発達障害を抱える子どもの増加
- ・ 規範意識の低下・自己肯定感の低さ・部活動指導・保護者対応の困難さ
  - 教員の多忙化・病気休暇の増加・教員志望者の減少

陵東中の学校教育目標

「自ら考え、正しく判断し、行動できる 人間性豊かな生徒の育成」

伸ばしたい**10**の「力」



認知的 資質・能力	社会的 資質・能力	実践的 資質・能力
論理的思考力	貢献的態度	粘り強さ
見通す力	共感的態度	探究心
伝える力	協働する力	自己調整力
[メタ認知力(振り返る力)]		

# これまでに取り組んできた主な地域学校協働活動

## 1 総合的な学習での連携

- ・ 1年：施設訪問、職業講話
- ・ 2年：職場体験、企業訪問、施設訪問
- ・ 3年：街づくりプロジェクトでの地域や企業・市役所との連携

## 2 学習支援活動

- ・ ゲストティーチャーによる学習支援
- ・ 「木曜塾」による放課後学習支援

## 3 地域活動

- ・ 「町会長と語る会」⇒校外班ごとの地域貢献活動
- ・ 寒河江まつり「神輿の祭典」への参加
- ・ 全保護者による交通安全指導



**学校が主導**

# 町会長と語る会

生徒が校外班ごとに、地域のためにできることを自分たちで考え計画を立てます。それを学校に集まってもらった町会長さんたちに直接提案し、町会長さんたちからアドバイスをいただき修正します。決定した内容を長期休業や土・日を使って校外班ごとに実践します。



# 木曜塾

本校は毎週月・木曜日を部活動休止日としています。そのうち木曜日の放課後に図書室を開放し、自主的に学習する場を提供しています。学習が遅れ気味の人や家では集中できない人などが参加しています。教員は関わらず、見守ってくれているのは地域のボランティアの方々です。



# 神輿祭りへの参加



昨年度、寒河江まつりの中でもメインイベントである「神輿の祭典」に3年生有志が参加しました。寒河江神輿會と寒河江八幡宮氏子神輿会の方々から3日間指導していただきました。進路実現を掲げた祈願神輿を威勢の良い掛け声とともに担ぎ、地域のまつりを大いに盛り上げました。

# 小学校への合唱訪問

本校の伝統である「合唱」を学区内の小学校を訪問して発表しています。小学生は迫力ある合唱を聴いて中学校への憧れを持ち、中学生は先輩としての達成感を感じるなど、双方にプラス効果があります。

## コミュニティ・スクール導入までのおもな流れ

- 令和元年9月12日 コミュニティ・スクール導入について市教育長より提案
- 10月下旬 コミュニティ・スクール導入について学校で協議・導入の意向決定
- 11月初旬 導入を正式決定
- 令和2年1月20日 コミュニティ・スクール導入に向けた研修会参加  
NPO法人まちと学校のみらい 代表理事 竹原和泉氏
- 2月2・3日 コミュニティ・スクール先進校視察（校長）：横浜市立東山田中学校
- 2月18日 PTA委員会でコミュニティ・スクール導入について説明
- 2月下旬～ 学校運営協議会委員の選出について協議 → 市教委に原案報告
- 3月初旬～ 学校運営協議会委員・地域コーディネーターの依頼
- 3月中旬 学校運営協議会委員・地域コーディネーターの原案決定
- 3月中旬～ コミュニティ・スクール年間活動計画作成
- 3月26日 コミュニティ・スクール設置校打ち合わせ会議
- 5月28日 第1回学校運営協議会：任命書交付、CSの説明、会長・副会長の選出
- 7月10日 第2回学校運営協議会：熟議

# 令和2年度 陵東中学校学校運営協議会委員

	肩 書		肩 書
地域住民 (7)	寒河江地区町会長代表	学識経験者 (2)	元東部地区公民館長
	西根地区町会長代表		寒河江工業高等学校長
	三泉地区町会長代表	保護者 (3)	PTA会長
	主任児童委員(西根地区)		PTA副会長
	主任児童委員(三泉地区)		母親委員長
	寒河江地区民生児童委員	学校関係 (2)	陵東中学校長
	地域の企業経営者(鏡畳店)		陵東中学校 教頭
地域コーディネーター(1)		計 15名	

# 第1回学校運営協議会

5月28日（木）15:00～

## ＜おもな活動内容＞

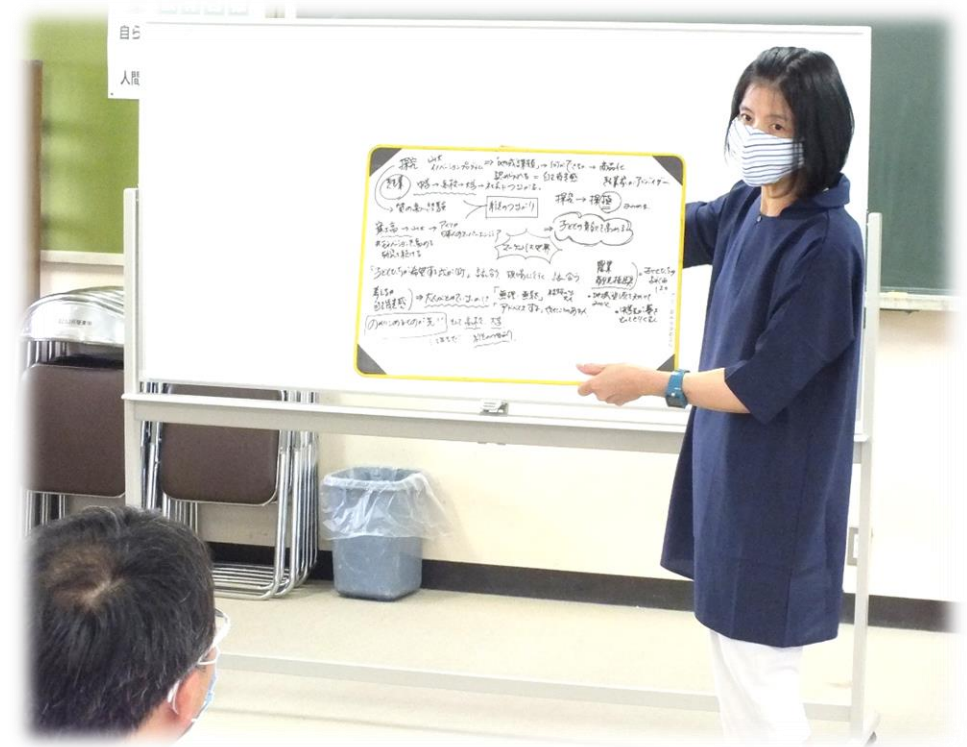
- ・任命書の交付
  - ・組織づくり(会長・副会長の選出)
  - ・校長による学校運営方針の説明
  - ・学校経営方針に対する質疑と承認
  - ・「熟議」のテーマについて
  - ・今後の日程
- 等



# 第2回学校運営協議会

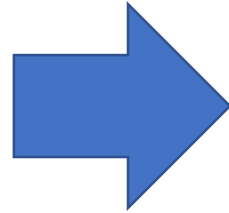
7月10日（金）15:00～

**熟議：① 子どもたちに身につけてほしい力は**  
**② そのためにできることは・・・**



## ① 身につけてほしい力

- 自分の頭で考えて行動する力
- 人を思いやる心
- いろいろな人と関わる力
- 自分を表現する力
- (困難を)乗り越える力
- 情報を選択する力
- 文章を読み解く力
- 地域の一員としての自覚
- 地域に貢献する態度



## ② そのためにできること

- 自分たちで考え、話し合う場をつくる
- 子どもたちを信じて任せてみる
- 地域の方々との交流の機会をつくる
- 情報を取捨選択する学習をする
- 多様な本に出会う機会をつくる
- 地域の魅力を伝える
- 地域の魅力を大人が知る機会をつくる
- 山大イノベーションプログラムへの参加

## 課 題

- コミュニティ・スクールに対する地域や保護者の理解が不足し、当事者意識が高まらない。
- 学校運営協議会での話し合いによって思いや願い、情報の共有はできるものの、具体的な行動に至らない。
- 地域連携の活動を進めようとすると、一部の担当者や学校側の負担が増加してしまう。



**実効性のある、持続可能なコミュニティ・スクール  
にするために**



# 今後、実施を考えている改善案

## < 4 部会制の提案 >

- 学校と地域が連携・協働して行う主な活動を4つの部会に分ける。
- 学校運営協議会の委員も4つの部会のいずれかに所属して具体的な活動を進める。
- 委員の中から、各部会の代表者を決めて、地域コーディネーターと連絡・調整をはかる。→**学校の負担を軽減する**

## < その他 >

- 委員の研修機会を設け、他の実践に学ぶ。
- 学区内小中学校CS合同会議を設け、情報・行動連携を図る。

専門部会	主な活動内容	おもな連携団体
<p>広報部会</p>	<p>&lt;広報活動&gt;  ○学校ホームページ作成・情報発信  ○「コミュニティ・スクールだより」の発行？</p>	<p>○寒河江市教育委員会  ○陵東中PTA</p>
<p>学習支援部会</p>	<p>&lt;授業支援&gt;  ○学習サポーター ●ゲストティーチャー  &lt;放課後学習支援&gt;  ●木曜塾 ○カルチャー教室</p>	<p>○主任児童委員  ○教員0B  ○県内大学・高校  ○文化・スポーツ団体</p>
<p>地域学習部会</p>	<p>&lt;未来の担い手育成プログラム&gt;  ○各学年プロジェクト  (1年:お宝発見 2年:課題解決 3年:街づくり)  &lt;キャリア教育&gt;  ●職場体験 ●職業講話</p>	<p>○寒河江市役所  ○寒河江市商工会(青年部)  ○ロータリークラブ  ○県内大学・高校  ○陵東中PTA</p>
<p>地域活動部会</p>	<p>&lt;地域貢献活動&gt;  ●校外班ごとのボランティア活動  ●神輿祭り参加 ●福祉施設・小学校訪問  &lt;交通安全・防犯活動&gt;  ●登下校時の交通安全指導</p>	<p>○町会長連合会  ○陵東中PTA  ○寒河江神輿会  ○市内小学校  ○市内福祉施設</p>

誰かが何とかしてくれる、のではなく、自分たちが「当事者」として、自分たちの力で学校や地域を創り上げていく。子供たちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そんな「志」が集まる学校、地域が創られ、そこから、子供たちが自己実現や地域貢献など、志を果たしていける未来こそ、これからの未来の姿である。

新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた

学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）

平成27年12月21日 中央教育審議会